

平家物語旅 雑感

— 滋賀の平家物語の地を巡る一バスツアーに参加して —

物忘れが特技の私が二ヶ月前のことを書けるかなと

思いつつ、心からのお礼に代えての一筆。

旅の始まりは、紅葉が色づきかけた木曾義仲の墓所「義仲寺」、後に芭蕉が骸を送るように遺した所でもある。湖岸が近かった時代は、尚風光明媚だったであろうことは想像に難くない。

次は今井兼平の墓へ。1184年正月、義経、範頼の軍と栗津で戦い、討死した義仲のあとを追って自害したと現地の説明看板が語る。栗津の地で、長く大切に守られてきたのが分かる。



草津の「浜木綿」で中華のランチを美味しくいただき、午後は野洲の妓王寺へ。平家物語となぜ関わりが？と思っていたが、平清盛の寵愛を受けた白拍子、妓王と妓女の姉妹の故郷と聞く。姉妹の屋敷跡も近くにあり、立派な石碑とクロガネモチの木が赤い実を一杯つけていた。

そして、妓王が清盛に所望し故郷に引いてもらったという「祇王井川」を目指す。パンフレット掲載の場所は分からなかったが、親切なバスの運転手さんは、あちこち細い農道をものともせず進み、春には桜並木が見事であろう水路沿いに停車。清盛が引いた水路、今も現役なり。

締めは、大篠原の「平宗盛公冢の地」。看板の説明はあまりにも切なく、「諸行無常」なるその言葉が、歴史音痴の私にもよぎる。

知らないことばかり、発見だらけの歴史旅。企画、実現してくださった方々に厚く御礼申し上げます。

2022年 大寒に Y.K

コロナ禍で僅かながら活動して きている各倶楽部の様子 その2

スケッチ倶楽部



戸外の活動なので無理をせず、近場のスケッチを続けてきています。

楽ごもりにも飽きてか、参加者は順調～

又6月に作品展を計画しています。

抹茶倶楽部

1/8 12名で鏡点前の初釜を楽しみました。

立礼式点茶盤を新たに導入、お披露目を兼ねた茶会を春にできたらと計画中です。

その節にはご案内致します。

初炭手前



歴史倶楽部

現在は「平家物語研究会」として毎月一回勉強会を開いていますが、今年度はギニャールさんの琵琶の演奏を楽しみ、湖国に残る平家物語に書かれた場所を訪ねるバスツアーで、野洲の祇王寺等へ行きました。最後これまでの勉強の成果を本にまとめる予定です。古文と言えば、文法をイメージし勝ちですが、平家物語は実際にあった出来事であり、興味深く楽しい内容です。

パソコン倶楽部

パソコンをする方はほぼいなくなり、モバイル、タブレット利用の質問が時々あります。もう難しい、なんて言わないでしなやかに挑戦していきましょう～

2008年町家を借りた時から、貸し教室として、「生花とフラワーアレンジメント」を月に4回開いておりました教室が、先生を始め皆さまの高齢化に伴い終了致しました。長い間いろいろ教えを頂きありがとうございました。